

JST未来社会創造事業

超原子座標構造の可視化による創薬の革新

本格研究キックオフ公開シンポジウム

クライオEM解析を主軸にXFELも併用の上、異なる両量子線の特徴を活かした解析から、試料の原子座標を超えた情報取得を進めます。創薬と共に、GX、材料科学などへの応用を目指します。

日時：2024年3月8日（金）10:00 - 14:25

場所：ハイブリッド開催

（リアル会場：仙台 東北大 片平キャンパス 片平北門会館 エスパス）

定員：会場 500名

参加費無料 事前登録

[zoom登録リンク](#)（メールアドレスに視聴URLが届きます）

10:00 長我部 信行 統括（日立製作所）

「開会のご挨拶およびJST未来事業の概要のご紹介」

10:15 米倉 功治（理研・東北大）

「プロジェクトの概要」

10:30 上村 みどり（CBI研究機構）

「Integrated Structural Biology in Drug Discovery」

10:55 関嶋 政和（東工大）

「スーパーコンピュータを用いたAIに基づく創薬」

11:20 岸本 直樹（東北大）

「量子化学計算を用いた構造解析と化学反応シミュレーション」

11:35 津田 健治（東北大）

「動力学的回折理論に基づく3D EDデータの結晶構造解析プログラム開発」

11:50 小林 広明（東北大）

「量子-スーパーコンピューティング統合計算基盤の研究開発と
そのAI-シミュレーションハイブリッド計算への応用」

12:05 - 13:10 休憩

13:10 森本 淳平（東大）

「分子標的創薬の発展に資する人工中分子ペプチドの構造研究」

13:25 元木 創平（日本電子）

「CRYOARMの開発の歩みと今後」

13:40 山田 和範（東北大）

「人工知能を利用したクライオ電子顕微鏡制御法の開発」

13:55 鈴木 謙一（日本電子）

「ポストコロナにおける創薬研究を加速させるクライオ電子顕微鏡

14:10 まとめ

14:20 岡島 博司 テーママネージャー（トヨタ自動車）

「閉会のご挨拶」